臺灣日日新報

祖國解放へ態勢完備
インド假政府成立
首席にスバス・ボース氏推戴

假政府宣言

ボース首席宣誓

假政府は緬甸に設置

假政府は戰鬪の組織
ボース獨立聯盟總裁聲明

帝國の武器の友

勝利へ搖ぎなき信念
假政府スポークスマン談話

總ゆる支援惜まず
滿洲國政府決意を表明

獨立達成へ準備萬全
ボース總裁演說要旨

假政府の首腦陣容

濠洲軍を逐次壓迫
ソム河地區の戰鬪激化

敵機十機を擊墜破
海鷲ラバウル上空に邀擊

三機を擊墜

來襲敵機擊退

怒江西岸に包圍網
虱潰しの殲滅戰
敵屍六百、混亂に陷る

重慶側の報道

藤原行政查察使
東條首相に查察結果報告

比律賓共和國
新聞條約調議

貴院の議事運營方針

衆議院の議事日程

定例次官會議

泰國專任外相に前駐日大使

全米鐵道總罷業か
形勢俄かに惡化

畑總司令官
北、中支方面を視察歸京

人事

けふの會合

化膿症に
サルファミン劑
ゲリゾン錠
アルバジル姉妹製品
中耳炎
扁桃腺炎
面疔・癰疔
婦人科化膿症
山之內製藥株式會社

ヒラノ
ゲンモヘタビ錠
新發賣
結核・心臟・夜尿症
尿意頻數・四肢冷感
產前產後・虛弱體質
疲勞回復・精力增進

女性も皆働
強力女性ホルモン
エスチモン
頭痛・肩凝
腰痛・便秘
作業能力減退

社説

貯蓄力增强の基本的施策

食糧の飛躍的增產
外米依存完全に脱脚
第二次增產對策實施協議會
米・甘諸の絶體確保

實施項目大綱

總務長官訓示

增產陣決戰だ

行け南の海へ
戰ふ船渠 造船戰士鬪魂迸る

勤勞の劃期的措置
女子勤勞挺身隊の特色
自主的に挺身

各國の女子勤勞

勤勞觀の切替

團體行動を訓練

南糖北米"基本策へ
臺糖（鳳山）日糖（竹南）工場閉鎖

臺灣水利組合令一部改正
水利行政の運營に萬全
近く公布 閣議決定

經濟手帖
企業集團

本島電力の一元化實現
既に餘剩電力調整へ邁進

臺電、東臺灣兩社合併

二期作生育概して良好

二戰略地點忽ち攻略
神速・皇軍の戰闘振り

決戰
國內戰陣訓（其二）

屠案實物市場設置內定

新竹保正會議

辰馬汽船臺北支店長轉任

深刻、勞働力不足
英航空機工業の現狀

生產の立遲れ

勞力不足の惱み

重慶出版界の窮狀

企業の國營化

不動產金融
各種預金・債券保管
日本勸業銀行
台北・新竹・台中・台南・高雄

市況（廿一日）

兜町前場況

東京長期前場

東京國債前場

東京銀行實株

中つたく沈む敵艦
敵主力全滅の大戰果
フインシハーヘン雷撃行

還らぬ尊き十六機

【…基地にて…】…撃沈…航空母艦…、大型輸送船…撃沈…

自爆及び未歸還

日章旗を振り

敵艦の胴腹に引

敵船團の眞只中

戰果は確認され

總蹶起・總勤勞の精神昂揚
應徵だ・一億戰闘配置
全國一齊に十一月下旬 應徵士援護國民運動

藤岡少將臺東劇場で講演

臺北州下 銃後奉公大會

御家庭の塵芥から堆肥
―塵芥と不純物の選別に全面的協力望む―
島都で一月に三十萬斤造成計畫

朝香宮孚彦王殿下
明野飛行學校御退校

ジヤカルタ特別警察隊の猛訓練

綠の神宮外苑競技場
壯觀・學徒壯行式
若き熱血は滾る

報國挺身の決意で悠久の大義に生よ
出陣學徒に烈々の辭
東條首相

肉豚の自給態勢確立
島都年産千頭確保へ

花蓮港廳桐林奬勵續行

新竹警察部異動

大湖郡警防團分團旗授與式

戰ふ農村民

苦心と體驗を發表
新竹州下體驗懇談會

今日の映畫

大世界 台劇 新世界 芳乃館 明治館 萬華劇場 大平館 第三世界 基隆・開場地區 中央劇場 基隆世界館 旭劇場 和樂 羅東座 宜蘭座 昇平座

臺北州會同興業會社

東寶國際館 25日マデ 日本ニユース 本日ハ二回

花山演藝團一行 22日マデ 漫才と浪曲 基隆劇場

慰靈祭御禮 肱岡龍作

會葬御禮 丹內好男

移轉謹告

弊社今般左記ニ移轉仕候間此段謹告仕候

昭和十八年十二月二十二日

臺北市京町二丁目三十一番地

株式會社 伊藤萬 臺北支店

電話 三五六二 五九六四番

從業員募集

一、人員 若干名男女共
一、職種 一般工員及ミシン修理工
一、年齡 男女共十三歲以上四十五歲以下
一、條件 …
右法令ノ範圍內ニ於テ優遇ス希望者ハ來社ノ上申込マレタシ

臺灣ゴム株式會社 勞務係

斗六郵便局長從七位勳七等青木松次郎儀去ル十二月十九日公務出張中高千穗丸ニテ歸臺ノ途次殉難死去仕候條此段及御通知候

追而十二月二十四日午後四時半斗六街平等院ニ於テ特定郵便局長會葬執行可致候

昭和十八年十二月二十一日

男 青木秀明 妻 政子 瀧野種一 中山義男 梅里尙德 友人代表 入佐藤次郎

父陸軍軍醫中尉從七位醫學博士淺井政雄儀臺北帝大附屬醫院ニ入院加療中ノ處養生不相叶二十日午後十一時十分死去仕候ニ付生前各位ノ御厚誼ヲ深謝シ此段及謹告候也

追而告別式ハ十二月二十三日午後三時臺北市西本願寺ニ於テ相營可申候

男 淺井政章 男 淺井陽 男 淺井透 男 淺井不二雄 淺井昭二郎 淺井スヱ 松本末次郎 立花瀧壽 緒方治 二瓶淳 山田太郎 藤井初穗 友田守惠 小林準一 小野原孫三 松尾德壽

大武山上に忠靈塔
義勇隊員へ感謝の顯れ

【高雄電話】山の同胞の感謝の結晶である大武山上忠靈塔建立は既報…[illegible]

勞務の需給調整へ
新竹州各市郡に勞務研究懇談會

[illegible]

農業指導の人柱
陳錫華君名譽の戰病死

【屛東】屛東市宰町三百五十二番地…[illegible]

市制十周年
屛東市勢興策論文募集

【屛東】屛東市では來年十一月一日を以て市制施行滿十周年記念日を迎へるので…[illegible]

防空指導實習
受講者熱心に實習

[illegible]

秋さやか相撲大會
花蓮港廳山の若人ら

[illegible]

秋まつり
十七日清水社

[illegible]

保甲書記錬成會

[illegible]

授産講習會開會式

[illegible]

食糧增産の根本
防風堤防保護林造成

[illegible]

血戰の皇軍將兵へ
感謝慰問金汎く募集

大東亞戰爭勃發以來茲に一年十箇月今や帝國は目ざましき大東亞の建設と共に必勝不敗の態勢を確立する一方、西南太平洋を主戰場として熾烈なる敵の反攻を擊摧しつつ…[illegible]

募集規定
一、慰問金は五十錢以上とす
一、現金以外の品物は取扱はず
一、締切は十月三十一日とす
一、本資金の處分は臺灣總督府に一任す
一、紙上掲載を以て領收證に代ふ

臺灣日日新報社
興南新聞社
臺灣新聞社
高雄新報社
東臺灣新報社

たをやめの胸に輝く
瑞八の中川君子さん

[illegible]

お米と亞麻
功勞者表彰と體驗懇談會

[illegible]

意氣颯爽
東港青年團奉仕隊

[illegible]

空へ憧れは燃ゆ
石山、永井、井上三君合格

[illegible]

新竹秋競馬
三十一日から六日間

[illegible]

一機失へば二機
豐原商業學園の意氣

[illegible]

常會實施事項打合
皇民奉公會臺南州支部

[illegible]

鐵道部異動

[illegible]

賞賜物件傳達
臺南市會議室

[illegible]

堀口中尉外三柱の葬儀
二十一日臺中市葬

[illegible]

家庭

スピオリ島土産話
結婚は品物の聘金によつて

森下教授

[illegible]

婦人と腹帶
竹内茂代

[illegible]

古レコード

[illegible]

獻金への奔流

[illegible]

常會推進の重點
臺南支部十一月の申合

[illegible]

生活部長錬成會
信念と實踐力の強化

[illegible]

花蓮港　街の生活便り

[illegible]

赤誠の獻金品
海軍武官府（二十一日）

國防獻金　[illegible]

恤兵金　[illegible]

ラヂオ

第一放送
[illegible]

第二放送
[illegible]

祝奉將神社例祭典
奇想天外な傑作喜劇遂に誕生？
花咲く港
松竹映畫　野心喜劇
主演　上原謙　水戸光子　笠智衆
木下惠介第一回演出
26日より
80セン均一・税共
大世界館封切
仰げる武勳捧げる感謝
若人よ航空決戰の底力！
映畫配給社　興行統制會社

歯の美化とムシ歯の豫防よ
少量で倍効果
姉妹品　仁丹煉歯磨　仁丹粉歯磨　仁丹歯ブラシ
半煉の仁丹歯磨
優雅な香味　快適な歯觸り　的確な殺菌清掃力
決戰生活の要求にピタリする理想的の歯磨!!

頭痛にノーシン

頭痛　ハセスロール
腦溢血・狭心症
鎭痛　血壓降下
塩野義製薬

撃滅だ結核
肺浸潤專門藥　有田製劑　治肺劑
有田ドラッグ商會

國産　キナミニス
香型　ヤリラマ
新發賣
皮下注射劑　新治療

夕刊 臺灣日日新報 十月二十二日

徵兵へ萬全の構へ 高砂青年修錬場
各州、廳に一箇所設置

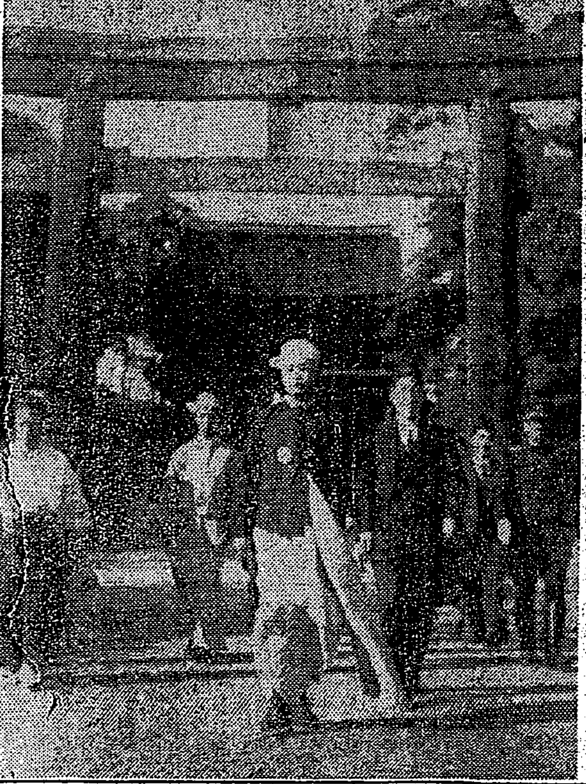
北方資源を戰力化
樺太開發調査會總會

農事電化事業統一
中央委員會結成計畫樹立

齋藤長官上京

御遊覽の御沙汰

全島理蕃課長會議
廿六日臺北警察會館に召集



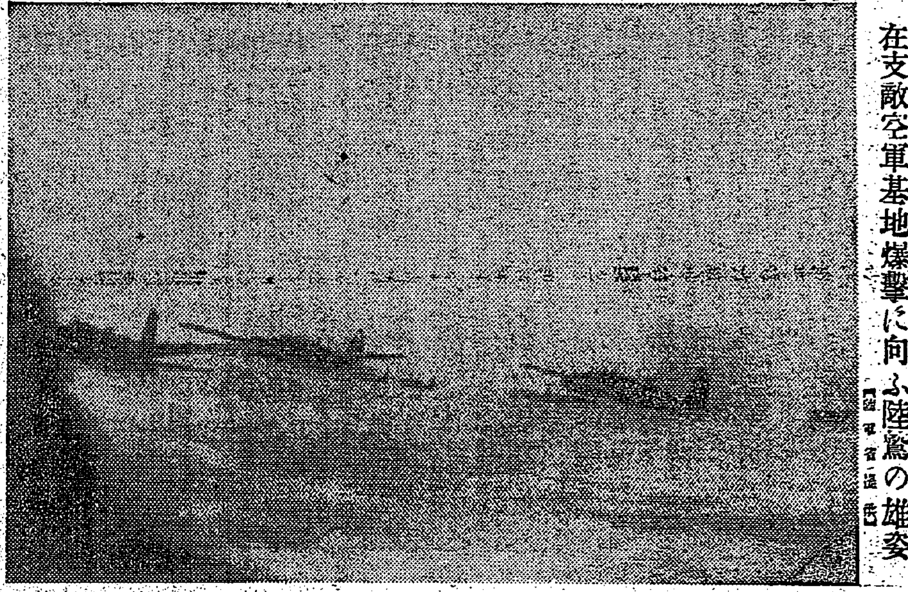
明治神宮參拜のテーモン大使

比律賓共和國承認
ファシスト共和政府通電

產報本部でも人員大幅縮減

假政府最高顧問
ビハリ・ボース氏決定

三菱系三保險會社合併決定



在支敵空軍基地爆擊に向ふ陸鷲の雄姿

獨潛艦活躍漸次熾烈
十月中早くも廿二萬噸擊沈

艦船卅五萬噸擊沈
獨海空軍、大西洋水域戰果

地中海水域に商船七隻擊沈

十億總進軍の議會迎ふ（二）
決戰生產に重要布石
軍需會社法案に期待大

鎬を削る百萬の大軍
クレメンチユーク攻防戰

獨の防禦陣搖がず
イタリア南部戰線戰況

米國の輸送問題緊迫
マーシャル下院秘密會で報告

羅、徵集令發す

米英・ソ聯に叩頭
早くも反樞軸軍戰略協議

重慶で作戰評定
マウントバツテン歸任

セルビヤ南部盲爆
反樞軸軍又復暴虐働く

ルーズベルト參謀總長協議

人事

實山模型飛行機部
長命軒
補三奇
保安藥行
和田眼鏡店
ヒナタ
ほまれ洗素
野田商行
大正堂靴鞄店
東京堂藥局
則松藥商會
金星堂藥舖
モロクラ 佐野商行
ラジオは中川
大學堂メガネ店
ゴム底運動靴
巴商會製靴工場
孝公たわし
南國蛇族研究所
ドラミン
金光堂メガネ店
大平藥株式會社
萬適斯 保安藥行

靖國神社例大祭始る

【東京電話】靖國神社秋の例大祭は感激未だ消えやらぬ臨時大祭に引続き二十二日を第一日として執り行はれた、この日帝都の遺族や市民等の敬虔な人波の続く午後二時から陸軍省副官、海軍省副官以下奉仕して遺族の参拝を許可、又境内相撲場では午前九時から大日本相撲協会主催の奉納一般相撲大会を挙行した、第二日の二十三日には午前九時に勅使本殿参向あり二十四日の直会の儀により例大祭を終る

皇恩に唯感泣

臺灣遺族部隊 温かき見送りうけ離京

【東京電話】靖國神社秋の臨時大祭に新たに靖國の神と祀られた肉親の御霊との再会を果し合はせた皇恩の辱けなさに感泣する臺灣遺族部隊六十名は滞京以来連日感激の日を送りつつあつたが、二十一日靖國神社に参拝としばしお別れのお参りを済ませたのち、御下賜の御紋菓、御酒肴を始め数々のお土産を手に宿舎を出発、宿舎代表等の温かい見送りを受け同午後八時三十分東京駅発遺族列車で一路帰臺の途についた

【東京支社特電】靖國神社臨時大祭六日目二十日午前臺灣遺族に晴れの昇殿参拝が差し許された、遺族等は早くも午前六時半一同和かに打揃つて宿舎を出て靖國神社相撲場に参集服装を正して同八時より正殿参拝……

玉里號飛ぶ日近し 赤心籠る陸海二機

けふ軍用機基金獻納

軍司令部・海軍武官府で

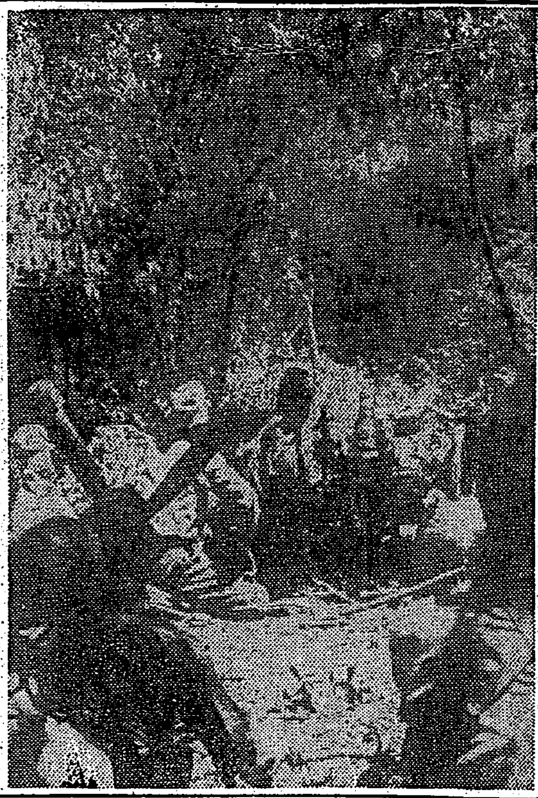
高砂義勇隊 武官府へ獻金

無言の戰士を慰靈

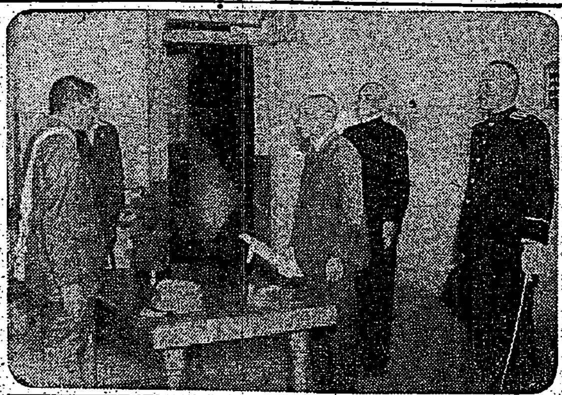
廿四日 護國神社で軍馬祭

精農の譽れに感激

各縣代表者新穀を上納



雲南國境で奮戰中の砲兵（陸軍省提供）



蓖麻は全島民の彈丸 荒鷲に應へ造れく

軍司令部 蓖麻增產紙芝居原稿募る

愈よ日米交換船歸國の途

婦人も乘出す闇撲滅 "硬貨の死藏は公敵"

來月一日 全島一齊婦人ラジオ常會

粤西共產地區に出擊する我が戰車隊

慰靈と遺志を繼承

二十四日 臺南陸軍墓地祭

月給袋ソックリ獻金

松宮眞佐雄氏の美擧

落した金の謝禮を慰問金へ

幹部鍊成會開催豫定

新竹州產業奉公會

新竹州警察部 訓示傳達式

屏東警防團、分團旗授與式

喫緊項目を審議

臺北州警察會議終了

次回夕刊小說豫告

村松梢風作　中一彌繪

村松梢風氏

倭水軍

作者の言葉

中一彌氏

臺灣日日新報社

總力擧げて南方建設

山本事務總長あて南方便り

宮木君から

報恩・誓つて米英擊滅

李健三君ら殉の御楯の決意語る

防空壕構築に戰ふ擧徒

新竹中學校生徒

屏東市非常事務打合會

萬里庄增產助役任命

皇國農村の底力を昂揚

農林省 米穀供出優良農家等を表彰

仔豚を購入肉豚の增產へ

臺灣タブ無盡藏

花蓮港廳木材王國現出

彰化神社例祭 奉納諸行事

花蓮郡高砂族相撲鍊成大會

嘉義青少年團 勤勞奉仕出動

海軍飛行練習生採用祝金を獻金

臺灣醫學會十月例會

彰化市青年團査閲

臺東廳軍馬祭

高雄市の青年學校査閲

奉公運動展開

登山と遠足

臺灣山岳會指導標建設登山

獅子頭山

明朝の番組

後三國志 (234)

（出師の卷）

吉川英治作　矢野橋村畫

篇外余錄

諸葛菜（四）